

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 28 年 4 月 14 日 (2016.4.14)

【公表番号】特表 2015-513484 (P2015-513484A)

【公表日】平成 27 年 5 月 14 日 (2015.5.14)

【年通号数】公開・登録公報 2015-032

【出願番号】特願 2014-558985 (P2014-558985)

【国際特許分類】

B 4 2 D 9/00 (2006.01)

C 0 9 J 7/02 (2006.01)

【F I】

B 4 2 D 9/00 B

C 0 9 J 7/02 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 2 月 24 日 (2016.2.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

裏材層と、前記裏材層の片側の少なくとも一部に配置された再付着可能な接着剤層と、を含み、

前記再付着可能な接着剤層の一つの部分から、前記再付着可能な接着剤層の他の部分までの距離が増加するように、裏材層の一部が手で伸長可能であり、

前記再付着可能な接着剤層が、前記裏材層が伸長した後も接着力が維持される、伸長性テープフラッグ。

【請求項 2】

前記伸長可能な部分が一方に少なくとも 100% 伸長され得る、請求項 1 に記載の伸長性テープフラッグ。

【請求項 3】

100% 伸長時の前記伸長可能な部分の応力が約 15 MPa 未満である、請求項 1 に記載の伸長性テープフラッグ。

【請求項 4】

前記接着剤層が、不連続に存在し、

複数の前記接着剤層の部分の間に存在する前記裏材層の一部が、手で伸長可能である、請求項 1 に記載の伸長性テープフラッグ。